



立命館大学国際平和ミュージアム 戦後80年ギャラリー企画展

いの もり 祈りの森

せんじか おとふうけい こえ かた
—戦時下の音風景とアートでつなぐ声・語り—

Closing Event

アーティストトーク&コンサート

2025年10月25日（土）16:00-17:00

会場：立命館大学国際平和ミュージアム 1F ロビー



森谷理紗(もりやりさ) 京都大学人文科学研究所特定准教授

モスクワ音楽院博士課程修了（芸術学/音楽学 博士）

音楽学・芸術学の立場からシベリア抑留の文化活動を研究し、再現楽器プロジェクト、レクチャーコンサート等の芸術実践も展開している。著書に『シベリア抑留下の芸術と人間—記録と記憶から想起する』（桜美林大学出版会、2024）

Leonid ZVOLINSKY (レオニード・ズヴォリンスキー)

ニューメディア・アーティスト、作曲家



様々なアルゴリズムやシステムを取り入れた現代音楽やニューメディア・アートに取り組むとともに、人の聴覚特性や音の錯覚効果と芸術への応用に関する研究を行っている。2025年さいたま文化発信プロジェクト「空想するさいたま」（アーツカウンシルさいたま×東京藝術大学）等に作品を提供している。

www.leonidzvolinsky.com

ゲスト出演

神戸 薫子 (かんべ かおるこ) ソプラノ



桐朋学園大学声楽科卒業。二期会オペラ研修所マスタークラス修了。さわかみオペラ芸術振興財団の奨学金を受けてイタリアに留学し、名門トリエステ歌劇場にて《ノルマ》《リゴレット》のソリストとしてオペラデビュー。数多くのオーケストラと共演を重ねる。東京国際芸術協会優秀新人賞受賞。夫で歌人の佐佐木頼綱と共に唱歌・日本歌曲の研究を行い、日本の言葉と音楽の魅力を発信している。



Concert Program



Leonid Zvolinsky

- 1 Noise Of Memory – プロジェクションマッピングとライブエレクトロニクスのための (2025)
- 2 Where Is Your Warmth? – 音楽・音響パフォーマンス (2025)
- 3 取扱説明書(機械は戦争を考えない) – 自動ピアノとライブエレクトロニクスのための (2022 年)
- 4 かき消された声 – ギターとライブエレクトロニクスのための (2022 年)
- 5 深淵から光へ – アンサンブルのための (2021)
- 6 X-SynapseL – リコーダーとライブエレクトロニクスのための (2020)
演奏 : Leonid Zvolinsky

戦盲歌

- 7 「母」 陸軍中尉村山寿春作詞 越谷達之助作曲 (1944)
- 8 「入院中折にふれて」 陸軍一等兵西塔高記作詞 越谷達之助作曲 (1944)
- 9 「妻」 陸軍准尉 山口耕造作詞 越谷達之助作曲 (1944)
歌唱 : 神戸薫子

主催: 森谷理紗 (京都大学人文科学研究所)
ズヴォリンスキー・レオニード (アーティスト)
共催: 京都大学人文科学研究所
後援: 立命館大学国際平和ミュージアム
京都大学教育研究振興財団
助成: 京都市「Arts Aid KYOTO」補助事業

